

協働事業報告書

事業の名称	弘法山桜まつり取り止めに伴う交通対応事業		
団体名又は氏名	弘法山古墳を愛する会	関係課名	地域づくり課、庄内地区地域づくりセンター
事業費	646,756円	市の負担額	640,000円

事業の目的及び内容	<p>【目的】</p> <p>弘法山古墳桜まつり実行委員会主催（並柳商工会主管）で開催していた弘法山古墳桜まつりの取り止めに伴い、発生する交通渋滞の課題に対応する。</p>	
	<p>【内容】</p> <p>これまで弘法山古墳桜まつり実行委員会が担ってきた花見客による交通渋滞等の問題について、桜まつり廃止・実行委員会解散に伴い、桜まつり廃止が定着するまでの間（5年）、市と地元ボランティア組織である「弘法山古墳を愛する会」との協働により交通対策を行うもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通規制等看板の設置 ・駐車、規制に係る誘導員の配置 ・仮設トイレの設置 	
	<p>【市民活動団体等の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通規制等看板の制作と設置等、規制等に係る地元調整、規制に係る申請 ・交通規制に係る誘導員の配置 ・仮設トイレの設置、設置期間中の管理 ・地区内外への周知、観光関係周知 	<p>【関係課の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通規制等看板の制作や誘導員の配置、仮設トイレの設置に係る経費負担 ・問い合わせ対応

	市民活動団体等	関係課(※)
協働事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要箇所への看板設置、誘導員の配置（土日のみ）により、来場者へ交通規制等知らせることができた。 ・来場者や近隣住民に対する交通渋滞緩和に効果があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元調整を含む実務面を団体が担うことで、効率的に準備が進められた。 ・交通規制看板による周知や誘導員の配置により、今年度は周辺の交通渋滞に一定の効果があった。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により花見客は例年より少なかったため、混乱は生じなかった。コロナ前のような人出なら、多少の混乱が生じる恐れがあったと思われる。 ・本来駐車場でない和泉川河川敷について、パイロンを設置し一定の効果を得た。次年度以降も実施したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この協働事業は桜まつり廃止が定着するまでの間とあるが、今でも観光業者からの問い合わせもあるため（庄内センター聞き取り）、桜の見頃には花見客で混乱が生じる可能性がある。 ・一定期間終了後について、地元団体では経済的負担ができないため、行政支援ができるよう、予算措置の検討が必要と思われる。

注1 事業実施が確認できる資料(写真、新聞記事、作成したチラシ、パンフレットなど)を添付してください。

注2 ※印の箇所は、関係課で記入します。

自己評価書

事業の名称	弘法山桜まつり取り止めに伴う交通対応事業	
市民活動団体等 (関係課)	弘法山古墳を愛する会 (地域づくり課、庄内地区地域づくりセンター)	
自己評価欄(該当する選択肢に○をつけてください)		
1 計画のとおり実施できたか	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった	主な理由(左記で3、4と回答した場合のみ記入)
2 事業実施によって期待した成果をあげることができたか	1 期待どおりであった ② 概ねあった 3 あまりなかった 4 ほとんどなかった	主な理由(左記で3、4と回答した場合のみ記入)
3 協働で事業実施することの効果はあったか	① 非常にあった 2 あった 3 あまりなかった 4 ほとんどなかった	主な理由
		交通対策に係る実務は地元ボランティアが行い、経費は市が負担するという役割分担により、弘法山古墳への花見客や近隣にお住まいの皆さんへの交通渋滞緩和に効果があった。
4 その他、評価すべき点、反省すべき点(協働事業を通じて気づいた点など)	新型コロナウイルスの影響により花見客は例年より少なかったため、混乱は生じなかった。コロナ前のような人出であったら、多少の混乱が生じる恐れがあったと思われる。 桜まつり廃止・実行委員会解散に伴い、桜まつり廃止が定着するまでの間(5年)は協働によるとあるが、その後においても予算措置をお願いしたい。	